

安全データシート

ペプチド銅

改訂年月日：2022年5月20日

1. 化学品及び会社概要

化学品等の名称	ペプチド銅
供給者の会社名	コーキン化学株式会社
住所	大阪府東大阪市中石切町 3 - 7 - 49
電話番号	072-988-2300
FAX 番号	072-988-2506
電子メールアドレス	yakuji@kohkin.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	飼料添加物

2. 危険有害性の要約

本品に関して特定の有害性は知られていないが、皮膚、眼、口に不必要な接触を起こさぬように防止処置を講じなければならない。

GHS 分類

情報なし（分類されていない）

ラベル要素

絵表示または シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	情報なし
注意書き	情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	ペプチド銅（Copper Peptide） 定量するとき、換算した乾燥物に対し、窒素（N）5.5～8.5%及び銅（Cu）10.0～13.0%を含む。

CAS 登録番号（CAS RN）

官報公示整理番号(化審法)

官報公示整理番号(安衛法)

化管法指定化学物質の種別

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石けんで洗うこと。皮膚の刺激が持続する場合、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合、医師の診察を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置を行う者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な消防マスク、保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境への放出、流出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 残留物は多量の水で洗い流すこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。 汚染された作業着を再使用する時は、洗濯をすること。。
接触回避	情報なし
衛生対策	取扱い後はよく手や顔を洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、直射日光に当たらない換気のある乾燥した冷暗所で保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
ACGIH	設定されていない。
日本産業衛生学会	設定されていない。
設備対策	粉じんの発生を避けるため、排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣及び保護マスクを着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态：物理状态	固体（粉末）
：色	青緑色
：臭い	特異な臭い
融点、凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし

pH	3.0～4.0（蒸留水中 1%）
動粘性率	データなし
溶解度	水及びエタノールにほとんど溶けない。
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び / 又は相対密度	0.7～0.9g/mL
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 . 安定性及び反応性

安定性	通常の保管条件において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	熱、湿気、直射日光
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	情報なし

11 . 有害性情報

急性毒性	
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入：ガス	GHS の定義における固体である。
吸入：蒸気	GHS の定義における固体である。
吸入：粉じん、ミスト	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性 / 刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び放棄	容器を清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 附属書 及び IBC コード	該当しない
によるばら積み輸送される液体物質	
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別な安全上の対策	該当しない

その他（一般的）注意	積送前、容器破損、容器漏れなどがないことを確認すること。 運搬中、荷崩れ、容器破損、落下が発生しないよう注意すること。
緊急時応急措置指針番号	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法	第 57 条の 2/通知対象物/施行令 第 18 条の 2 別表 第 9379 号/銅及びその化合物 名称等を表示すべき危険有害物（ 1% ） 名称等を通知すべき危険有害物（ 0.1% ）
---------	--

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にしたものですが、すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の手扱いを想定しており、特殊な手扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

< 引用文献 >

- 飼料品質改善協議会 プレミックス研究会編集（第 2 版）
- 飼料添加物の成分規格及び評価基準収載書（第二版）（一般社団法人日本科学飼料協会、平成 31 年 1 月）「ペプチド銅」
- 社内資料